



学校評価アンケート～成果と課題～

11月に実施いたしました令和7年度の学校の取組を振り返るアンケートの結果をお知らせいたします。

【肯定的回答の割合が高かった質問項目】

※肯定的回答…「当てはまる」「どちらかと言えば、あてはまる」を選択

	質問内容	肯定的回答	
生徒	学校は、「道徳の時間」のなかで、これまでの自分の経験やそのときの気持ちや考え方を交流したり振り返ったりする活動を設け、命を大切に生徒の心の育成に努めている。	97.9%	
	学校は、給食等での栄養・食育指導や、保健だより等による健康意識を高める取組を行っている。	97.9%	
	学校は「学年PTA」や「学校公開日」、「学校祭」、「校内陸上競技大会」、「合唱発表会」、「総合発表会」等の行事を参観する機会を十分に設けている。	97.9%	
保護者	質問内容	肯定的回答	わからない
	学校は「学年PTA」や「学校公開日」、「学校祭」、「校内陸上競技大会」、「合唱発表会」、「総合発表会」等の行事を参観する機会を十分に設けている。	97.3%	1.3%
	学校は「学校ホームページ」や「すぐる」、「学校だより」、連絡文書等を通じて学校の情報を発信し、学校の様子を子どもたちや保護者、地域に伝えようと努めている。	95.1%	2.2%
	よい友人関係を築けている。	88.8%	6.2%

【肯定的回答の割合が低かった質問項目】

※肯定的回答…「当てはまる」「どちらかと言えば、あてはまる」を選択

	質問内容	肯定的回答	
生徒	学校は、校内学びの支援委員会を中心とする不登校支援や多様な学びの場の構築、スクールカウンセラー等との連携に努めている。	92.4%	
	学校は、「わかる」・「できる」を実感できる授業を目指し、生徒の学習意欲の向上や、基礎的・基本的な知識と技能の定着に努め、学習の充実を図っている。	92.8%	
	学校は、生徒が自分のよさや可能性に気づき、主体的に活動する機会を設けるよう努めている。	93.8%	
保護者	質問内容	肯定的回答	わからない
	学校は、校内学びの支援委員会を中心とする不登校支援や多様な学びの場の構築、スクールカウンセラー等との連携に努めている。	57.8%	36.4%
	学校は、「わかる」・「できる」を実感できる授業を目指し、生徒の学習意欲の向上や、基礎的・基本的な知識と技能の定着に努め、学習の充実を図っている。	62.7%	23.6%
	学校は、TT（複数教員による教科指導）やALT（外国指導助手）、補充的なプリントの配布など、生徒一人ひとりに対応した学習指導に努めている。	63.1%	26.2%

【総括】

今回の学校評価アンケートでは、生徒の肯定的回答は高く、多くの生徒が学校生活に肯定的な印象をもっている様子が見られました。一方、保護者の回答では「大きな不満はないが、具体的な取組内容がよくわからない」という傾向が見られ、特に学習面や個別支援、不登校対応、いじめ防止など、学校の取組が見えにくい領域で理解の差が出ました。このことから、学校としては、取組の改善に加え、“何を・どのようにしているのか”を、よりわかりやすく伝える工夫が必要であると考えます。

【成果】

学校生活の充実度や人間関係のよさ、行事の質と公開性、日常の情報発信、健康・安全面の取組がいずれも高く評価されており、学校の基盤となる活動が総じて良好であることが確認できました。今後も、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送れるような環境づくりを進めてまいります。

【課題と改善の方向】

1. 学習の手応えや評価の伝わりにくさ
授業改善の取組は進んでいますが、保護者にとっては、どのような指導や評価が行われているのかが見えにくく、実感につながりにくい状況があります。
《改善の方向》各教科で学習の「ねらい」や「評価の観点」をよりわかりやすく示し、生徒自身が学びを振り返り、成長の手ごたえを感じられる仕組みをつくり、御家庭との共有を進めてまいります。
2. 不登校支援・いじめ防止の取組への理解不足
生徒は学校の対応を肯定的に捉えている一方で、保護者は「よくわからない」と感じる割合が高く、学校の支援の流れが十分に伝わっていないことがわかります。
《改善の方向》「相談から支援までの流れ」や「校内学びの支援委員会」、「いじめ防止対策委員会」の取組、相談窓口やスクールカウンセラーの利用方法をわかりやすく案内いたします。

【まとめ】

今回のアンケートから、学校の取組自体はおおむね順調である一方、保護者へ適切に伝わりにくい取組があることが明らかになりました。今後は、「授業・評価の見える化」「支援の流れ

の明確化」「相談体制のわかりやすい案内」「地域連携の情報発信」など、学校の取組がより理解されるよう、伝え方にも重点を置いて改善を進めます。

【残りの質問項目の回答結果】※肯定的な回答の割合が高かった順

生徒

質問内容	肯定的回答
学校は、ICT機器(chromebookなど)を、授業や特別活動等で適切に活用している。	96.6%
学校は、定期的な避難訓練をするなど、防災教育に努めている。	96.6%
学校生活が充実している。	96.2%
よい友人関係を築けている。	96.2%
学校は、学校行事が生徒にとって楽しみながら成長する機会となるよう努めている。	96.2%
学校は、体育の授業や教育全体を通して、心身の健康の保持、増進に努めている。	96.2%
学校は「学校ホームページ」や「すぐる」、 「学校だより」、連絡文書等を通して学校の情報を発信し、学校の様子を子どもたちや保護者、地域に伝えようと努めている。	96.2%
学校は、「総合的な学習の時間」等のなかで、多様な人との触れ合いや体験等を通して、コミュニケーション能力や計画性など、社会で活かされる力の育成に努めている。	95.5%
学校は、評価計画や、評価資料を提示する等、学習への主体性を育む授業や適切な評価に努めている。	95.5%
学校は、「アンケート調査」や「定期的な面談(生徒・保護者・スクールカウンセラー等)」の実施、「保健室・学習相談室(学びのサポーター)の活用」等、生徒の「心身の健康」の維持に努めている。	95.5%
学校は、いじめ防止対策委員会の開催やいじめ防止基本方針等を通じて、一人ひとりが尊重される学校を目指し、いじめや暴力を許さない環境づくりに努めている。	94.8%
学校は授業中、課題(問題)に対して、ノートやワークシートに自分の意見やまとめを書いたり、ペアやグループで活動を行うなど、生徒の学力向上に向けた取組をしている。	94.5%
学校は、TT(複数教員による教科指導)やALT(外国指導助手)、補充的なプリントの配布など、生徒一人ひとりに対応した学習指導に努めている。	94.1%
学校は、子どもたちや保護者と向き合い、相談しやすい環境づくりに努めるとともに、教育相談や期末懇談、家庭への電話連絡を行う等、生徒理解に努め、指導を行っている。	94.1%
学校は、持続可能なPTA活動を検討したり、校区内の小学校や地域と連携・交流する機会を設ける等、協力関係の構築に努めている。	94.1%

保護者

質問内容	肯定回答	わからない
学校は、給食等での栄養・食育指導や、保健だより等による健康意識を高める取組を行っている。	88.4%	8.9%
学校生活が充実している。	87.1%	2.7%
学校は、学校行事が生徒にとって楽しみながら成長する機会となるよう努めている。	87.1%	8.9%
学校は、定期的な避難訓練をするなど、防災教育に努めている。	87.1%	11.6%
学校は、子どもたちや保護者と向き合い、相談しやすい環境づくりに努めるとともに、教育相談や期末懇談、家庭への電話連絡を行う等、生徒理解に努め、指導を行っている。	86.7%	4.9%
学校は、「アンケート調査」や「定期的な面談(生徒・保護者・スクールカウンセラー等)」の実施、「保健室・学習相談室(学びのサポーター)の活用」等、生徒の「心身の健康」の維持に努めている。	83.6%	10.7%
学校は、体育の授業や教育全体を通して、心身の健康の保持、増進に努めている。	81.8%	14.2%
学校は、ICT機器(chromebookなど)を、授業や特別活動等で適切に活用している。	75.6%	18.2%
学校は授業中、課題(問題)に対して、ノートやワークシートに自分の意見やまとめを書いたり、ペアやグループで活動を行うなど、生徒の学力向上に向けた取組をしている。	72.9%	24.4%
学校は、「道徳の時間」のなかで、これまでの自分の経験やそのときの気持ちや考え方を交流したり振り返りたりする活動を設け、命を大切にする生徒の心の育成に努めている。	72.9%	25.3%
学校は、持続可能なPTA活動を検討したり、校区内の小学校や地域と連携・交流する機会を設ける等、協力関係の構築に努めている。	72.9%	24.4%
学校は、生徒が自分のよさや可能性に気づき、主体的に活動する機会を設けるよう努めている。	70.7%	21.3%
学校は、「総合的な学習の時間」等のなかで、多様な人との触れ合いや体験等を通して、コミュニケーション能力や計画性など、社会で活かされる力の育成に努めている。	69.8%	25.3%
学校は、評価計画や、評価資料を提示する等、学習への主体性を育む授業や適切な評価に努めている。	69.3%	21.8%
学校は、いじめ防止対策委員会の開催やいじめ防止基本方針等を通じて、一人ひとりが尊重される学校を目指し、いじめや暴力を許さない環境づくりに努めている。	65.8%	29.3%

「ルールやマナーの本質を考える」

生徒指導主事 佐藤健児

この一年を振り返り、大きな事件や事故はなかったものの、ヒヤリとしたり、ハッとする件はいくつかありました。命に関わる重大事態になる可能性や、取るに足りない小さなことが、将来的に大きなことになる可能性(バタフライ効果)を考えるとは見過ごすことはできません。

危機管理が重要とされる社会において、皆さんの命をあずかる学校も様々なリスクを想定し対応しています。国には法律、家庭にもルールがあるように学校にも皆さんが安全・安心に学校生活を送れるようにルールがあります。常識や考え方などが大きく変化する現代社会において、時代に即したルールに換えていくことも必要なことかもしれません。しかし、時代がどんなに変化しようとも不変なルールがあります。それは命を守るためのルールだと思えます。

現在、情報化社会と言われ、ネットワークの利用が一般化し大変便利な時代になっています。反面、SNSによる誹謗中傷やネットいじめなどの人権侵害や犯罪が後を絶たず、社会的に大きな問題となっています。

このような時代だからこそ、一人一人がルールやマナーの本質をよく考え、行動しなければならぬと強く感じます。ぜひ、御家庭においても話題にしていいただければ幸いです。

「リスペクト」の気持ちを持ち、「人を大切にし、人に迷惑をかけない」ためのルールやマナーを守り、安全で安心な学校生活を送ることができるようみんなて考え、努力していきましょう。

3月の行事予定

3日(火) 公立高入試下見

4日(水) 公立高入試日

5日(木) 公立高面接日

9日(月) 送別集会リハーサル(2年)

10日(火) 送別集会、授業公開(5校時目)

11日(水) 公立高追検査

12日(木) 卒業式総練習

13日(金) 第43回卒業証書授与式

16日(月) 部活動部長会議

17日(火) 公立高合格発表、全協

24日(火) 特別清掃

25日(水) 修了式・離任式

※16~25日:午前授業・完全下校(給食あり)です。

※毎週火曜日は、スクールカウンセラー勤務日です。